

ソフトバレー・ブロンズフリー全国大会予選大会
第 33 回県民スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレーボール大会
安全対策ガイドライン

香川県ソフトバレーボール連盟

本大会に参加する全ての者は、各自で感染予防に努めることを原則としつつ、大会参加者の安全を保つため、次の事項を遵守することとする。

1. 大会参加者（チーム・個人）の方へ

- ① 体育館に入場する際には、マスクを着用する（フェイスシールド可）。
- ② 試合中を除き、体育館内（特に、観客席）では、マスクを着用し、ソーシャルディスタンス（少なくとも、1メートル以上の間隔）を守る。
- ③ 体育館に入場できるのは、原則として、大会に参加する選手及び監督のみとする。やむを得ず前記以外の者を同伴する場合には、「参加者名簿」に必ず記載する。
- ④ 各チームから出たゴミは、会場のゴミ箱などに捨てず、必ず持ち帰る（ゴミ袋を必ず用意）。また、忘れ物（飲み物・衣類等）は、原則として本部で廃棄する）。

2. 受付時（体育館の外側玄関で行う。）

- ① チーム代表者は、「参加者名簿」を提出する。エントリー変更がある場合は、「エントリー変更届」とエントリー変更後の「参加者名簿」を提出する。
- ② 参加料は、釣銭のいらないよう準備し納付する。
- ③ 体育館に入場する際には、必ず検温を受ける（当日、37.5℃以上の発熱のある者は、入場できない。）

3. 開会式及び表彰式

- ① 開会式は、コロナウイルス感染症の状況により、当日のアナウンスによりお知らせする。。
- ② 表彰式は、各種目の優勝・準優勝チームごとに未使用のコート等でソーシャルディスタンスを保ち行う。

4. 試合中

(1) チームに対し

- ① 試合開始前の握手は、キャプテントスも含めて行わない。選手はエンドラインに間隔を空けて整列し、審判員とともに全員で挨拶（礼）をする。
- ② コート内の選手以外は、全員マスクを着用する。コート内の選手が個

人的にマスク着用を求めた場合は、これを認める。

なお、コート内の相手チームの選手にマスク着用を要求できない。

- ③ マスク着用の選手は、試合途中でマスクを外したときには、マスクをしっかりと安全に管理する。
- ④ チームは、タイムアウト時も含めて2メートル程度の距離を持って話し、円陣は組まない。
- ⑤ 大きな声での指示や声援、選手同士のハイタッチはしない。
- ⑥ スポーツドリンク、タオルなど持ち物は、各自接触しないように注意し、個人専用の袋に入れることが望ましい。
- ⑦ 試合が終了したチームは、しっかりと除菌又は手洗い等を行い、次の試合又は審判に備える。

(2) 審判員に対して

- ① 審判時は、マスク又はフェイスシールドを着用する。
- ② 原則として、電子ホイッスルを使用する。ハンドシグナルは、電子ホイッスルを持ったままで行うこととする。
- ③ 試合終了後にはしっかりと手洗いを行う。
- ④ 主審は、選手に明らかな安全対策ガイドライン（感染対策）に違反する行為があれば、ゲームキャプテンに注意することができる。
- ⑤ 線審は、フラッグシグナルを行う。試合終了後、本部において「旗」の消毒を行うので、試合球とともに本部に返却する。
- ⑥ 試合開始ごとに本部において新たな「試合結果記録用紙」を用意する。
- ⑦ 試合球及び記録板等は、試合終了ごとに本部において消毒する。

5. 大会終了後

- ① チームは、ミーティングや懇親会等では、3密を避け、会話時には、マスクを着用するなど感染対策に努める。
- ② 大会終了後、2週間以内に感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに理事長 大川原に連絡する。